

さいじ しただい の しも いせき
西治下代ノ下モ遺跡



遺物写真

西治下代ノ下モ遺跡

西治地区のほ場整備に伴い平成21年より試掘調査を行い、ほ場整備に伴い遺跡の消滅の恐れのある部分について発掘調査を行った。西治の北側には現在、中国縦貫道が北に隣接しているために、従来の地形とは変化しているが、地形区分上は氾濫原となっている。

西治は、すぐ東側には七種川が南流し西側には西谷川が流れていて、田の形状をみると旧河道が読み取れる。西治周辺では、古墳以外の遺跡は今まで知られていなかったが、平成15年度の図書館の建設前に見つかった西治二反田遺跡が確認され、弥生時代から中世にかけての遺物が発見された。このほか、北西側に古墳時代後期の円光寺山古墳、円光寺山西古墳などの小円墳、西側には三昧谷1・2号墳のように横穴式石室を埋葬施設としない古墳が尾根状に築かれ盛土墳がある。また木棺直葬墳の事例として西治数葉ノ古墳が存在し、耳環、土錘、石製紡錘車が見つかっている。そして南側の高橋地区では、古墳時代中期後半の高橋古墳群は箱式石棺を埋葬施設とする古墳から鉄剣が見つかっている。



◆調査成果◆

今回の調査で西治や高橋地区のやや高い段丘で多くの古墳は見つかっていましたが、古墳に埋葬された人や埋葬を行ったふつう人々の暮らしの様子がわかる集落の跡を発見することができました。遺跡からは、弥生時代後期の竪穴住居跡2基が見つかり、期間をあけて古墳時代中期には再び竪穴住居3基を構えて生活し、中期後半の遺物はなく住居内からの遺物も少なく長期間住まずに居住域を移行していることが考えられます。また特徴的なものとして住居が住まいとしての役割を終えた住居の上に、古墳時代中期後半の祭祀に関わる土坑が見つかりました。その祭祀には土器が破砕されていました。その土器の発見時と接合状況から、住居を移行する前の祭祀の手順を復元するできました。ほか、中世代の掘立柱建物跡が見つかりました。

土坑 (どこう) : 穴の跡、貯蔵庫、ゴミ捨て場、用途のある穴。

いこう
(遺構)
弥生時代:後期 竪穴住居跡2基 土坑3基 ピット2基
古墳時代:中期中葉 竪穴住居跡3基
後半 祭祀土坑1基
中世:掘立柱建物跡2棟

いぶつ
(遺物)
弥生時代:中期/後期 弥生土器(壺・甕) 砥石
古墳時代:中期/後期 土師器(壺・甕・甑・製塩土器) 須恵器(坏・蓋) 土錘 砥石
古代:須恵器(坏)
中世:12~14世紀 須恵器(碗) 土師器(坏・皿・鍋) 青磁碗(中国製輸入陶磁器)

たてあなじゅうきよあと
竪穴住居跡: SH-09



どこう
土坑: SK-08



たてあなじゅうきよあと
竪穴住居跡: SH-05

たてあなじゅうきよあと
竪穴住居跡: SH-02



- 中世14世紀~近代
- 中世12世~14世紀代
- 古墳時代中期後半
- 古墳時代中期中頃
- 弥生時代後期

どこう
土坑: SK-04



ほったてばしらたてものあと
掘立柱建物跡2基: SB-01/02



どこう
土坑: SK-06



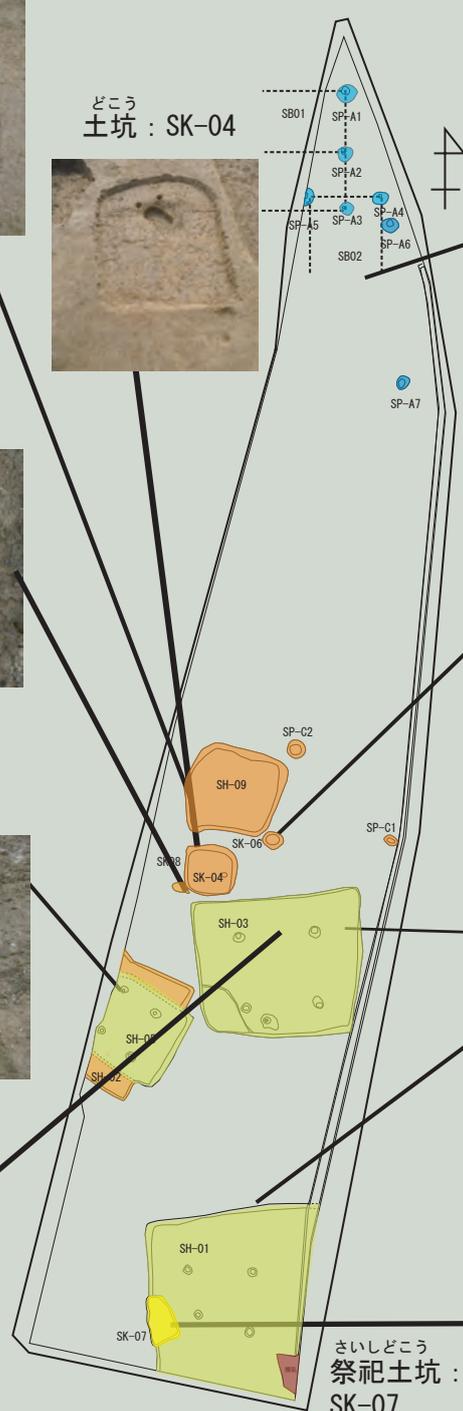
たてあなじゅうきよあと
竪穴住居跡: SH-03



たてあなじゅうきよあと
竪穴住居跡: SH-01



さいしどこう
祭祀土坑: SK-07



(1/300)

住

◆ 竪穴住居跡 ◆

西治下代ノ下モ遺跡では、弥生・古墳時代の竪穴住居跡5基が見つかりました。

古墳時代の住居跡は、4本の柱にしっかりと支えられていました。住居内の床面積は、約25㎡の大きさで、畳でいうと約15畳分の広さで、1つの住居に5～7人が住んでいたと考えられます。



食

◆ ご飯を蒸す ◆



お米を水で洗うすい布でくるんだものを甑の中に入れ木のふたで押さえて、下の甕には水を入れて火により沸騰させ蒸気によってお米をふかしておかゆのようにやや水分の多いご飯を食べていたようです。

◆ お塩 ◆



せいえんどき
製塩土器

製塩土器は、ホンダワラなどの海藻類を塩水につけ乾燥させ何回か繰り返し煮つめて塩を作り出すための土器です。製塩土器の破片がたくさん見つかっています。

◆ お魚 ◆



どすい
土錘

(西治数叶ノ古墳出土) 土錘は、川や海で魚を採る時に網の先に錘として網の紐に通るような筒状の形になっています。近くの西治数叶ノ古墳の副葬品からも見つかっています。

祭

◆ 祭祀 ◆



住んでいた住居跡の上に、穴を掘り2人（または1人で）の人がこの穴を挟んで立ち、中心に据え置いた石柱にめがけて土器を順番に割っている様子が発見時の様子からわかりました。

この2つの土器は、赤い色が表面に塗られており大きさは一回り違いでとてもよく似ている土器です。このような土器を割る行為は、住居を捨て次の住まいへと移る前のお祭りのようです。

①→②の順番に土器を割り③の甕の底部分を上にして割り焼土を入れ穴を埋め戻し④の土器は北側に供えてありました。

